

## 主な2つのポイント！



### 収穫残さは必ず撤去！

収穫した残さがそのまま放置されると、野生鳥獣は餌場と認識し、たびたび被害が発生することもあります。



### 農地は適正に管理！

荒廃し茂みとなった農地は、野生鳥獣の潜み場になり、周辺農地に新たな被害をもたらします。



### 複合柵

ワイヤーメッシュ柵の上に電気柵を設置したもので、イノシシの他に、サルの侵入も防ぐことができます。



### 電気柵

電源は乾電池式やバッテリー式、ソーラータイプの種類があり、軽い電気ショックで獣を脅かし、侵入を防ぐ効果があります。

※このほか、ワイヤーメッシュ柵や、移動式捕獲檻、音を鳴らして追い払う装置の設置、追い払い用のロケット花火などがあります。

### 輝北町上百引地区の複合柵



#### 侵入防止柵の設置を補助

市では、柵の資材費を補助しています。

#### ●主な補助条件

- 1地区あたり受益戸数3戸以上
- 柵を設置する土地の所有者の同意が得られていること
- 受益者自ら設置すること など

## 集落ぐるみで被害防止に取り組んでいます！

甘しょや、ハクサイなどを作付けしていましたが、サルやイノシシの被害にあつたことから、2年前に集落の農家の方々と共同で複合柵を設置しました。設置するだけでは被害を防ぎ続けることはできないので、その後の維持管理がとても大切です。私たちは集落ぐるみで定期的なやぶ払いや柵の点検を行い被害防止に取り組んでいます。



集落ぐるみで複合柵を設置した  
隈元 茂美 さん  
(輝北町上百引)

1つ目の対策は野生鳥獣を寄せつけない集落づくり。意識啓発と実践を促すため、集落ぐるみで住民参加型の研修会を開催し、農作物の収穫残さの速やかな撤去や潜み場となる茂みや、荒廃農地の解消、追い払いなどによる被害軽減対策を実施しています。

## 【対策1】寄せつけない

2つ目の対策は野生鳥獣の侵入を防止すること。市では、集落の要望に応じて農地への電気柵等の設置を補助しているほか、集落と協働で農地周辺のやぶや竹林を払い、鳥獣の潜み場をなくし侵入を防止する取り組みを行っています。このほか市内6つの猟友会による定期的なパトロールを実施しています。

## 【対策2】侵入を防止する

# 地域ぐるみで鳥獣被害を防ぐ！

市内では中山間地域を中心にサルやイノシシなどの野生鳥獣による水稲やサツマイモなどの農作物の被害が発生しており、市では被害の防止対策や適正な捕獲活動に取り組んでいます。今回は野生鳥獣被害の現状と3つの被害防止対策について紹介します。

市農林水産課 TEL0994-31-1173

## 市内で被害をもたらす主な野生鳥獣

市内では、主に6種の野生鳥獣により田や畑などでのさまざまな被害が発生しています。



カラス

収穫前の野菜などに被害をもたらす。



ヒヨドリ

冬の果物や葉物野菜に被害をもたらす。



イノシシ

雑食性で地中の虫や野菜などを掘り起こして食べる。



ニホンザル

植物を中心とした雑食性で山間部を中心に群れで生息。市街地でも目撃されることも。



アナグマ

トウモロコシなど甘みのある作物に被害をもたらす。



タヌキ

野菜や果樹全般に被害をもたらす。

## 農作物の被害状況



サルによるサツマイモの引き抜き被害



イノシシによる甘しょ畑の被害

